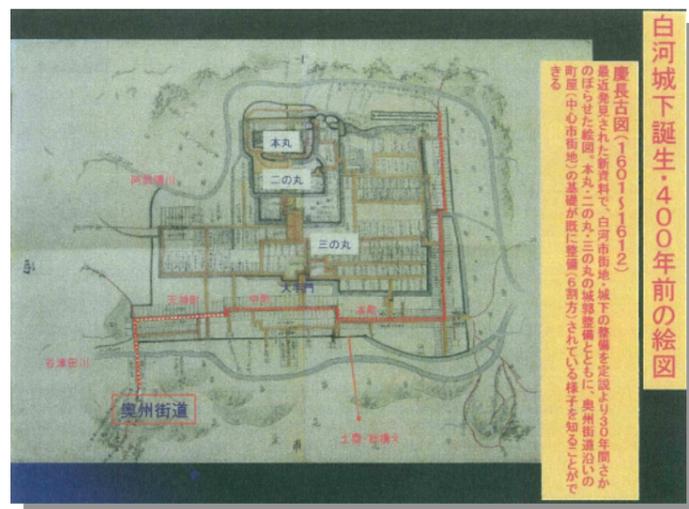


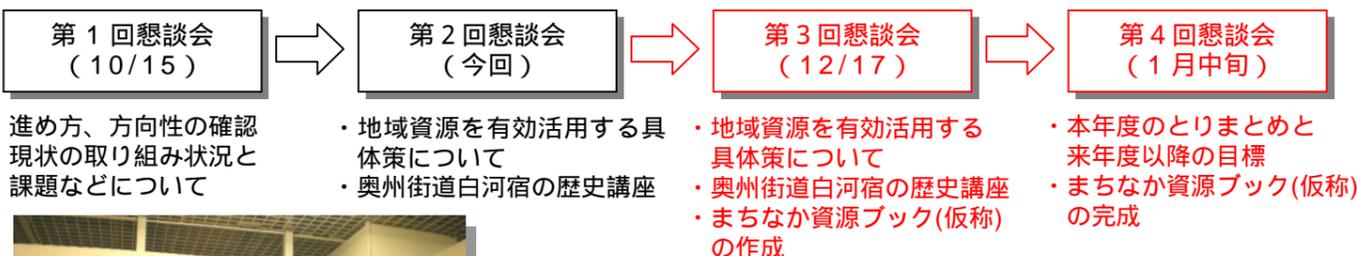
■ 奥州街道白河宿の歴史講座（その1）



白河の市街地は、昭和30年代から昭和40年代にかけて拡大したが、約400年間、**中心市街地の骨格的姿は基本的に変わっていない**。
400年変わることのない城下町の街路区画は、「白河らしさ」を象徴するものである。少子・高齢化、人口減少という時代背景の中、江戸から昭和にかけて築かれてきた既存ストックを、**どうやって磨きをかけていくか？、価値を高めていくか？**が、今問われている。

「次回の懇談会も、歴史講座を開催します。ぜひ参加しましょう。」

■ 本年度の懇談会の活動について



次回は、地域資源を有効活用する具体策についての話し合い、奥州街道白河宿の歴史講座、まちなか資源ブック(仮称)を作成します。みなさんのいろいろな考えやアイデアを持ち寄ってください。

次回懇談会のご案内

- 第3回懇談会
- ・地域資源を有効活用する具体策について
 - ・奥州街道白河宿の歴史講座
 - ・まちなか資源ブック(仮称)の作成
- 日時：12月17日(水) 13:30~16:30
集合場所：マイタウン白河 2F レンタルルーム 1

お問い合わせ先(主催者)

福島県南建設事務所 企画調査課
住所 / 〒961-0971 白河市昭和町 269 番地
TEL / 0248-23-1617
FAX / 0248-23-1642

まちづくり懇談会

奥州街道白河宿 にぎわいの再現

このニュースレターは、平成20年度の「第2回 まちづくり懇談会」で話し合ったことをまとめたものです。本年度の懇談会では、歴史・文化的資源及び観光・物産等の地域資源を有効活用するための具体策について話し合いをしていきます。また、まちなかの歴史、観光などの地域資源に詳しい「白河通(しらかわつう)」を養成するとともに、まちなかをガイドする際に参考となる『まちなか資源ブック(仮称)』も作成します。今回は、全員で22名の方々の参加がありました。

はじめに

今回の懇談会では、前回の懇談会で明らかになった現状と課題に対して、地域資源を有効活用するための具体策のアイデアを持ち寄って話し合いました。また、まちなか資源ブック(仮称)の作り方を決め、さらに、白河通になるための一歩として、歴史講座を開き、白河市街地の歴史について勉強しました。

第2回まちづくり懇談会 プログラム

とき 平成20年11月12日(水) 13:30~16:30
ところ マイタウン白河 レンタルルーム 1

挨拶

第1回まちづくり懇談会の振り返り
前回の懇談会で出された意見を整理して発表しました。

地域資源の有効活用方法等に関する意見交換

地域資源を有効に活用したまちづくりに向けた具体的なアイデアについて話しあいました。

まちなか資源ブック(仮称)について

前回の懇談会のアンケート結果を整理して発表し、ブックに掲載する資源、使いやすいブックの折り方について話し合っていました。

奥州街道白河宿の歴史講座(その1)

白河通になるための一歩として、奥州街道白河宿の歴史について勉強会を行いました。

- ・テーマ： 城下町から近代都市へ 白河市街地の都市構造変遷略史
- ・講師：白河市都市計画課 佐川庄司

まとめ

次回の懇談会の話し合いの予定について、確認しました。

